

## 第1回県体育館及び陸上競技場兼サッカースタジアム整備検討委員会 議事要旨

1. 日 時 平成19年11月19日(月) 10:00~11:30

2. 場 所 ニューみくら306会議室

3. 出席者 委員 黒後委員(会長)、倉田委員、橋本委員、森島委員、市村委員、熊田委員、  
平山委員、宮本委員、大谷津委員、坂本委員

欠席者なし

4. 開会及び会長等の選任

- (1) 森島スポーツ振興課長による挨拶
- (2) 委員の自己紹介
- (3) 事務局の自己紹介

5. 議 事

- (1) 「県体育館及び陸上競技場兼サッカースタジアム整備検討委員会設置要綱について」事務局から説明。委員の互選により、会長として黒後委員が選任され、全会一致で承認された。以降、委員会の進行は黒後会長になる。
- (2) 「委員会設置の趣旨及び目的について」及び「検討事項及び検討スケジュールについて」一括して事務局から説明。
- (3) 「栃木県体育館の設置経過及び整備検討経過について」「総合運動公園陸上競技場の設置経過について」「栃木県グリーンスタジアムの設置経過及び陸上競技場兼サッカースタジアムの整備検討経過について」一括して事務局から説明。

6. 意見交換

栃木県体育館、総合運動公園陸上競技場、栃木県グリーンスタジアムの現状と問題点について委員から意見を聴取。以下主な内容。

(1) 県体育館について

・現在サッカー関係の中でフットサルという競技が盛んになっている。県体育館はフットサルは利用出来る状態になっていない。

・新しい体育館及び陸上競技場兼サッカースタジアムが、障害者にとっても、利用する側、観客側にしても利用しやすい施設となるようお願いする。

・栃木県全体に言えることであるが、駐車場に苦勞しているのが現状である。特に県体育館は駐車場が少なく不便している。周辺の施設でも駐車スペースがなく、交通の便が良ければ公共機関の使用も考えられるが、栃木県は車社会なので、駐車場はある程度必要となる。

- ・現在の県体育館の弓道場では全国規模の大会が出来ない。参加者が多い場合のいる場所がない。県内では大きな弓道の大会が開催出来ない。

- ・県体育館の中に武道館があるが、高体連の主催する大きな大会が年3回あり、弓道、柔道は使用しているが、剣道は3つの大会とも使用していない。というのは、観覧席が少なく、保護者や応援が多いので他の施設を使用している。

- ・駐車場が非常に狭く、大きな大会時に不足する。それが一番の問題点と考える。武道館を含めて駐車場が非常に狭い。

- ・段差が多いので、高齢者のバリアフリーが出来ていない。トイレもウォシュレットではなく、お年寄りに優しい施設ではなく、使い勝手は悪い。

- ・会議室も窓等が老朽化している。バドミントンなど真夏に暗幕を使用する場合など冷房施設が必要である。

- ・全体的に老朽化しているので非常に使い勝手が悪い。是非新しい体育館については、そういった問題点を解決して欲しい。

- ・生涯スポーツの人からすると遅い時間まで開館してほしいと思う。利用は4時間の区切りであるが、4時間も使用する人は少ないと思うので地域の方から見ればそういったところも考慮して欲しい。

- ・私はバスケットボールが専門なのだが、関東大会レベルでも体育館が足りないし、県体育館レベルでも大会が出来ないということは、栃木県として恥ずかしいということになる。現在の県体育館では大きな大会は出来ない。

## (2) 陸上競技場について

- ・本競技場の芝の補填・管理ということから、県内の主として関東大会くらいまでのハンマー投げは球技広場で競技が行われざるを得ない状況である。

- ・今年サッカーのJFLの試合を2試合ほど開催されたと思うが、投てき競技を行うと、芝がぼこぼこになったり、芝が枯れてきたりと、サッカーを行う上では使用できなくなる問題がある。

- ・トラックと中の芝生が生えている部分の間に砂場があるが、あれは幅跳びを行うもの。ちょうどその場所を審判が走るのだが、コンクリートで枠があって砂もあるので、副審が走る位置がほとんどない。そこにシートを被せたり様々な安全をとっているのだが、ああいうものは今後公認をとる上で新しく建設するときも必要なのか。

・バックスタンド側にも左右に砂場がある。建設した当時はサッカーという意識はなく、大きな競技会ということを考慮していたかと思う。今後、新しくスタジアムを作ることになればそういったことも考慮しなくてはならないかと思う。

・今の陸上競技場に感じることは、競技者側に立ったいい競技場だと思う。まあ古くなったのでいろんな意味で問題点はあるかもしれないが。

・役員とかお客さんや子ども達など、要するに競技者でない側から考えた競技場である必要がある。今の競技場というのは、屋根が無いので雨が降るとお客さんが逃げる場所がなくて困る。県体育館など大きな大会時には女子トイレがなくて大渋滞する。東京などの大きな大会では、トイレなども多く待たなくて済む。ちょっと行くと飲料水もすぐ買える。県の施設などはちょっと離れた場所にあり、非常に不便である。公園のなかにある競技場では競技者が木陰で休め、子どもたちにとっても非常に助かる。

・現在、サブトラックは4種の公認であるが、300mのトラックである。従来であれば400mないといけないので、大きな大会であれば400mのトラックが必要だ。

・栃木県は雷が多い。雷の時など、避難場所とかもある程度考慮に入れて今後は検討してもらいたい。今の状態だと、観客がある程度入った時に雷が急に来ると右往左往してしまう。県のグリーンスタジアムもそうだが、何処に誘導して良いのか、スタッフもあたふたしてしまう。そういう避難場所、もしくは導線を確保して、安全の面も大事だと思う。今まではそういった対策が万全ではない気がする。

・今の陸上競技場は、1種類の芝で、冬枯れる芝生であると思うが、芝の品種を替えることで、使用頻度も増えると思う。現在のグリーンスタジアムの芝の状態は非常に良いので、陸上競技場もするべきではないかと思う。

・陸上競技場は正面からの上がり口は現在2箇所である。この前栃木サッカークラブの試合を観戦に行ったのだが、メインスタンド側の2箇所だけでは混雑してしまう。バックスタンド側にもあれば非常にいいのかなと思う。それと、有料試合時には券売所も数カ所あれば良いと思う。入り口が複数あるということは安全面でも非常に良いかと思われる。

・陸上競技場については、インターハイや国体という大きなイベントも考えた上で、開会式やその他のことについても考慮して欲しい。

### (3) グリーンスタジアムについて

・現在のグリーンスタジアムのメインスタンド側に屋根らしきものがあり、デザイン的には価値があるものと伺っているが、雨が降った時には無いに等しい位の状態だ。雨天時に少なくとも傘をささないで見られるような状態と言えない。メインスタンド側、バックスタンド側その辺のところを今後検討していく中で考えて欲しい。

・交通アクセスが悪く、民間のバスでは数本しかなく時間的にも非常に不便であると痛切に感じている。

・グリーンスタジアムのいいところは、非常にグラウンドから近くて専用スタジアムらしいところか。サッカーやラグビーも使っているが、高校生、中学生、社会人の大会でも、臨場感のあふれるプレーが近くから見れるということで非常にいいスタジアムだと思う。

・屋根の問題や、トイレが少ないなどいろいろ問題はあるかと思うが、スタジアム自体はグラウンドの整備も行き届いているし、いいスタジアムだと思う。ただ、メンテナンスの問題で使用頻度が非常に少ないということが挙げられる。子どもからお年寄りまで使用頻度というのは決められているらしいが、子どもであれば10試合使っても芝を痛めないだろうし、お年寄りもそうであろうと思う。そういうことも考えていけば、このスタジアムはもっと良いスタジアムになると思う。

・雨が降った場合、サブグラウンドはクレーなので、人工芝であれば、大雨が降った場合に、そちらに移行して大会が運営できるという台替えもできるのではと思う。そういった点がグリーンスタジアムのデメリットになっているのではないかと思う。

#### (4) その他

##### 事務局から

・サッカー場の確認の意味においてだが、先ほど話があったが、屋根とか芝の管理や売店とかいろいろあったが、次回以降規模や内容を検討するにあたって、白紙の状態ではなくて、Jリーグの基準を踏まえた上での検討になる。たとえば収容人員にしては15,000人という基準をクリアした上で何が必要かということ。屋根に関してもメインスタンドの屋根は原則設置することになるので、それらを踏まえてバックスタンド側も必要なのかの検討になる。

・芝に関しても天然の常緑芝で、大きさも105m×68mという基準もクリアした上での検討が必要だ。それ意外にも練習場や、管理室や医務室などかなり細かい基準がある。こういった基準をクリアした上での検討となるのでよろしくお願ひしたいと考えている。

・県の方針としては、陸上競技場兼サッカースタジアムという形で考えているので、どういう規模・機能が必要かということについては県の方針に沿ったご意見をお願ひしたい。